

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：志波）（2組：志波）（3組：志波）（4組：志波）（5組：志波）

使用教科書：（「新編現代の国語」東京書籍、「新編現代の国語学習課題ノート」、「常用漢字ダブルクリア」尚文出版）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
単元 自己を見つめる 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の主張の要点を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を認識し、考えをまとめ、伝えようとしている。	・指導事項：生きる原点としての自己への理解を深めよう。 ・教材「ルリボシカミキリの青」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「ルリボシカミキリ」「フェルメール」のそれぞれの「青」が意味するものを理解し、それらを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、自分自身の興味や関心について、その魅力と今後への意欲を説明しようとしている。	○	○	○	5
単元 他者に出会う 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。	・指導事項：評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 ・教材「未来をつくる想像力」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「メディア」と「想像力」の関連性について、筆者の主張とつなげながら、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 「イメージの共有」についての自分の考えや体験を、明快な言葉で発表し、生活の中のメディアについて考え、話し合おうとしている。	○	○	○	7
定期考査						○			1
1 学 期 単元 他者に出会う 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	・指導事項：評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げよう。 ・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等	○	○	○	【知識及び技能】 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 「鹿おどし」と「噴水」について具体的にイメージし、その特徴を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の理解を踏まえて、「鹿おどし」のような日本独自の文化を象徴する事柄や物事を挙げて、西洋と対比しながら自分独自の視点で説明している。	○	○	○	7

	<p>単元 視野を広げる</p> <p>【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すととともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の都市における自然の持つ意味を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>	<p>・指導事項：新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。</p> <p>・教材「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 接続詞に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、各段落の関係を理解して説明している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 都市の中で生息する植物と人間にとっての自然の持つ意味を理解し、説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、都市設計や都市環境の問題について、意見を発表しようとしている。</p>	○	○	○	5	
	定期考査						○				1
2 学 期	<p>単元 視野を広げる</p> <p>【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すととともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び標記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>	<p>・指導事項：新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。</p> <p>・教材「無彩の色」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 接続詞に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、各段落の関係を理解して説明している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「ネズミ色」「グレー」「灰色」の持つイメージと「灰色の美学」の概念を理解し、説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張を踏まえて、カラーと白黒の写真を比較し、それぞれの特色や自分の美的感覚について、意見を発表しようとしている。</p>	○	○	○	5	
	<p>単元 社会と関わる</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。</p>	<p>・指導事項：働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えよう。</p> <p>・教材「森で染める人」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 時間軸に注意し、筆者の置かれた状況と周囲の変化を確認しながら読んで、文章の構成を理解し、説明している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「鍋屋」「鍋磨き」という言葉が表す意味や象徴を理解し、それらを説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 職業について、仕事の苦勞や喜びの体験談など見聞きしたことや調べたことをまとめ、発表しようとしている。</p>	○	○	○	7	
	定期考査						○				1
	<p>単元 未来に目を向ける</p> <p>【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。</p>	<p>・指導事項：多様な価値観に目を開き、社会の未来を考えよう。</p> <p>・教材「不思議な拍手」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「情動」「情動の高揚」「高まりの誤帰属」など心理学的用語の意味を理解し、説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を踏まえて、「分かる」という認識や人間の心の持つ複雑さについて理解するとともに考えを深め、説明しようとしている。</p>	○	○	○	6	
	<p>単元 世界とつながる</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・指導事項：芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深めよう。</p> <p>・教材「美しさの発見」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書・ワークシート 等</p>				<p>【知識及び技能】 意見と根拠（具体例）、問いかけとその答えを確認しながら読み、論理の展開を捉えて、説明している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各具体例に基づく「発見」と「美しさ」の相</p>					

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1組：佐原） （ 2組：佐原） （ 3組：佐原） （ 4組：佐原） （ 5組：佐原）

使用教科書：（「新編言語文化」東京書籍）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする	我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
単元A 古文入門1 【知識及び技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ること。	・指導事項：古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎となる言語の決まりを理解する ・教材：古文に親しむ ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	6
単元B 古文入門2 【知識及び技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】進んで文語の活用について理解し、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	・指導事項：文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る ・教材：絵物師良秀『宇治拾遺物語』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用について理解を深め、さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】絵を描くことに対する良秀の姿勢がどのようなものかを読み取り、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】絵を描くことに対する良秀の姿勢について、自分の考えを文章にまとめるとともに、発表や話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○			1
1 学 期 単元C 漢文入門 【知識及び技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。	・指導事項：故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・教材：借虎威『戦国策』 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等	○	○	○	【知識及び技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解しようとしている。我が国の言語文化に特徴的な量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解しようとしている。古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などについて理解しようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。作品の内容や形式について、批評したり討論したりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。	○	○	○	6

	<p>単元D 史話 史話を楽しむ</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら進んで調べて得た情報を的確に整理し、学習課題に沿って、人物像が伝わるポスターを作ること。</p>	<p>・指導事項：話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。</p> <p>・教材：魏武捉刀『世説新語』</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	○	○	○					6		
	定期考査								○			1
	<p>単元A 物語 古人の生き方</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。</p>	<p>・指導事項：歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・教材：筒井筒『伊勢物語』</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	○	○	○					6		
	<p>単元B 小説2 葛藤する心</p> <p>【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。</p>	<p>・指導事項：極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。</p> <p>・教材：「羅生門」芥川龍之介</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	○	○	○					7		
	定期考査								○			1
2 学 期	<p>単元C 随筆 日々の思い</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>	<p>・指導事項：随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える。</p> <p>・教材：奥山に猫またといふものありて『徒然草』</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	○	○	○					6		
	<p>単元D 小説 現実の向こう側</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。</p>	<p>・指導事項：表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。</p> <p>・教材：「夢十夜」夏目漱石</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	○	○	○					7		
	定期考査								○			1

<p>単元A 随筆 日々の思い2</p> <p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えること。</p>	<p>指導事項：作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。</p> <p>・教材：うつくしきもの『枕草子』、古典の窓・古文学習のしるべ</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>単元B 詩歌</p> <p>【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとすること。</p>	<p>・指導事項：詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</p> <p>・教材：I was born</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いやりや考えを広げたり深めたりしながら、進んで、和歌や歌謡における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>単元C 小説 現実の向こう側</p> <p>【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。</p>	<p>・指導事項：主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。</p> <p>・教材：「デューク」江國香織</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート等</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現に注意して話の展開を捉え、その内容を説明している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉え、それについて自分の考えをまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>					<p>○</p>		<p>1</p>

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地歴公民 科目 地理総合

教科：地歴公民 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1～5組：安部）

使用教科書：（新地理総合 帝国書院）

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 私たちが暮らす世界 【知識・技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域について理解し、その知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球上の位置に対する関心を高め、それらを意欲的に追究する。	・指導事項 ①緯度、経度 ②地球儀と世界地図 ③日本の位置と領域 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
B 資料から読み取る現代世界 【知識・技能】 交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄とその知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 交通・情報通信が国境をこえて結び付きについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高める。	・指導事項 ①交通の発達 ②情報通信の発達 ③拡大する貿易 ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 交通・通信技術の発展と国境をこえたさまざまな結び付きについて、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 交通・情報通信が国境をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信の発達による社会の変化と、それとともに起こるようになった諸問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
C 生活文化と自然環境（地形） 【知識・技能】 地形がもつ特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地形を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形が持つ特徴について、関心と課題意識を高め意欲的に追究する。	・指導事項 ①大地形 ②山地の暮らし ③平野の暮らし ④海岸の暮らし ・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど	【知識・技能】 地形がもつ特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地形を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形が持つ特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学 期	D 生活文化と自然環境 気候	<p>・指導事項</p> <p>①大気の大循環 ②熱帯の人々の暮らし ③乾燥帯の人々の暮らし ④温帯の人々の暮らし ⑤冷帯、寒帯の人々の暮らし</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真、雨温図の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽から受ける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>植生・土壌の特徴、各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化についてそれらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 生活文化と産業	<p>・指導事項</p> <p>①宗教 ②食生活（農業） ③工業立地の特徴 ④資源エネルギー問題</p> <p>・教材 教科書</p> <p>・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>各地域の農業生産の特徴や食文化のグローバル化について、宗教と関連させながら写真やグラフ・地図の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>さまざまな工業や工場の様子や各地の工業生産について、写真や地図などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>農業形態の違いや地域的な分布、農業と食文化の関連性について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。</p> <p>工業の発展と生活の変化、さまざまな工業の立地の特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>農業が自然環境や技術の発展、グローバル化の影響で多様性が生じたり変化したりしていることについて関心と課題意識を高める。</p> <p>国・地域ごとの経済発展や工業化の違いや、国際分業の進展について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>F さまざまな地球の課題と国際協力</p> <p>【知識・技能】 さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高める。 日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>・指導事項 ①人口問題 ②都市問題 ③自然環境と防災</p> <p>・教材 教科書 ・一人1台端末の活用 等 Teams、GoogleEarthなど</p>	<p>【知識・技能】 さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学 科目：数学 I 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：反町・嶋本） （2～5 組：反町・嶋本・古賀）

使用教科書：（「数学 I standard」（東京書籍））

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して考察を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	式の計算 実数	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。 ・2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
数と式 【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	一次不等式	【知識・技能】 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6
1 学期						

	<p>集合と論証</p> <p>【知識及び技能】 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。</p>	<p>集合 命題と論証</p>	<p>【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p>	○	○	○	13
	<p>2次関数</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>2次関数とそのグラフ</p>	<p>【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</p> <p>・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、グラフをかくなどして多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>				5
	<p>定期考査</p>			○	○		1
2 学 期	<p>2次関数</p> <p>【知識及び技能】 2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>2次方程式と2次不等式</p>	<p>【知識・技能】 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</p> <p>・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p>				19
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>鋭角の三角比 三角比の拡張 三角形への応用</p>	<p>【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。</p> <p>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。</p> <p>・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。</p> <p>・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解している。</p> <p>・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。</p> <p>・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>				21

	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>データの分析</p> <p>【知識及び技能】 データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>データの分析</p> <p>データの分析の応用 仮説検定の考え方</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 				23
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者： （1組：水谷） （2組：反町） （3組：水谷） （4組：水谷） （5組：反町）
 使用教科書： （「数学A standard」（東京書籍））

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	①数え上げの原則と集合の要素の個数 ②順列	【知識・技能】 ①和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 ②順列の総数 nPr や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ③円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ①集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 ②円順列及び重複順列について図をかきなどしながら、原理を理解して立式し、場合の数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり、積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。 ②円順列及び重複順列について図をかきなどしながら、立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	①組合せ ②事象と確率 ③確率の基本性質 ④独立な試行の確率	【知識・技能】 ①組合せの総数 nCr を理解し、計算することができる。 ①順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 ②事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 ③積事象と和事象の確率について理解している。 ③排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ④独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】				

1 学期

<p>うとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		<p>①選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ①選び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ①同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 ②同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 ③互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 ④独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①順列や組合せの考え方をを用いて、選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。 ②同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ③余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。 ④独立な試行の確率を求めるために、それぞれの事象の確率の積に着目して、そのことを活用しようとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
<p>場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力や論理的に考察する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>①反復試行の確率 ②条件付き確率 ③期待値</p>	<p>【知識・技能】 ①反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 ②条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。 ③期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 ②これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 ③期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①反復試行の確率について、組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。 ③期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。</p>				13
<p>図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力や判断する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	三角形と比	<p>【知識及び技能】 三角形に関する定理や性質について理解し、それらを用いて線分の長さや角度の大きさなどを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形に関する定理について、様々な性質を利用して証明や考察をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①図形の性質についての関心を高め、学習に取り組もうとしている。 ②三角形に関する様々な定理や照明について、性質を利用しながら考えようとしている。</p>				
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>図形の性質 【知識及び技能】 図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力や判断する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>円の性質 空間図形</p>	<p>【知識及び技能】 円に関する性質や定理を用いて、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。 空間における直線と平面の位置関係が垂直であることをかき示すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係に気づき、その関係を活用して接線の作図の考え方を説明することができる。 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上の直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 円や空間図形定理や照明について、性質を利用しながら考えようとしている。</p>				8
	<p>数学と人間の活動 【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力や論理的に考察する力、判断する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		<p>【知識及び技能】 数を古代エジプト、古代ローマ、バビロニアの記数法で表すことができる。 n進法の特徴を理解している。 1を単位とした端数の考え方を理解している。 正方形の対角線を利用した無理数の長さの線分を作図する方法を理解している。 振り子のひもの長さや周期の2数の関係を式に表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 古代エジプトの数字や古代ローマの数字の記数法についての特徴を現在の記数法と比較しながら考察することができる。 n進法の特徴について考察することができる。 ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考察することができる。 正方形の対角線が無理数であることについて説明することができる。 振り子による時間の計測の仕方について、振り子のひもの長さに着目して考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代エジプトの数字や古代ローマの数字の記数法についての特徴を現在の記数法と比較しながら考えようとしている。 n進法の特徴について考えようとしている。 ひもの端数の考え方を利用して、ユークリッドの互除法の仕組みを考えようとしている。 正方形の対角線が無理数であることについて考えようとしている。 ⑤振り子による時間の計測の仕方について、振り子のひもの長さに着目して考えようとしている。</p>				5
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】 数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力や論理的に考察する力、判断する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>【知識及び技能】 ⑧歩測で距離を求めることができる。 ⑨空間内の点の位置を座標平面上の点から座標空間に拡張させて表すことができる。 ⑩魔方陣の考え方から式を立てたり、魔方陣の場合の数を求めたりすることができる。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について、ボートを動かす回数ができる限り少ない方法を理解している。 ⑫和算の油分け算の仕組みについてどのような関係があるかを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ⑧測量による日本地図の作成方法やその精度などについて考察することができる。 ⑨空間内の点の位置を表す方法を考察することができる。 ⑩魔方陣の考え方や解き方などについて世界中の魔方陣の様子とともに考察することができる。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について数学を活用して考察することができる。 ⑫和算の油分け算の仕組みについて2元1次不定方程式を活用して考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ⑧測量による日本地図の作成方法やその精度などについて考えようとしている。 ⑨空間内の点の位置を表す方法を考えようとしている。 ⑩魔方陣の考え方や解き方などについて世界中の魔方陣の様子とともに考えようとしている。 ⑪オオカミとヤギとキャベツの川渡り問題について数学を活用して考えようとしている。 ⑫和算の油分け算の仕組みについて2元1次不定方程式を活用して考えようとしている。</p>				15	
	定期考査			○	○		1
						合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：西村 幸也）（2組：西村 幸也）（3組：西村 幸也）（4組：西村 幸也）（5組：西村 幸也）（組： ）
 使用教科書：（実教出版 化学基礎 ）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】基礎的な原理・法則を理解し、観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】自然界の事物・現象について科学的に考察し、自らの考えを的確に表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける。 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につける。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができるようになる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。 自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについての興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 物質の探究 【知識及び技能】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 混合物の分離について、物質の化学的性質を考えて仮説を立て、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の分類と性質 ・混合物の分離(実験) ・物質と元素 ・成分元素の検出(実験) ・物質の三態と熱運動	【知識・技能】 身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解している。 混合物の分離、成分元素の検出に関する実験を正しく行うことができる。 【思考・判断・表現】 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、混合物が分離できることを実験的・論理的に考え、的確に表現することができる。 物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心をもち、それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
	B 物質の構成粒子 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学定期考査	・原子の構造 ・イオンの生成 ・元素の周期表 ・陽イオンになる元素(実験)	【知識・技能】 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを理解している。 元素の性質が電子配置と関係していることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 原子構造の簡単なモデルについて、的確に表現することができる。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 元素の性質に興味をもち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。	○	○	○	6
	C 化学結合 【知識及び技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合についてその特徴を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオン結合 ・イオンのリーグ戦(実験) ・共有結合 ・配位結合と錯体(実験) ・金属結合 ・結晶の分類(実験)	【知識・技能】 イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることを理解している。 共有結合を電子配置と関連づけて理解している。 金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解している。 組成式、分子式、物質の名称を、正確に示すことができる。 【思考・判断・表現】 実験や観察をもとに、イオン結合、共有結合、金属結合について考え、組成式や分子式で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実験や観察に主体的に関わり、各化学結合の共通の性質などについて積極的に探究しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (柏倉 正伸)

使用教科書： (「新編 生物基礎」(数研出版))

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 基礎的な原理・法則を理解し、観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育てられている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章生物の特徴 第1節生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 生物の多様性と共通性、エネルギーと代謝、呼吸と光合成について理解する。 顕微鏡の使用法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料を基に生物の共通する性質を導き出すことができるようになる。また、細胞が生物の構造上機能上の単位であることを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解し得ようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	・生物の多様性と共通性 ・細胞説 ・顕微鏡の使い方	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 顕微鏡の使い方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見だし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 (発問評価・課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)	○	○	○	5
第1章生物の特徴 第2節エネルギーと代謝 第3節呼吸と光合成 【知識及び技能】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	・生命活動と代謝 ・ATPについて ・呼吸 ・光合成 ・エネルギーの流れ ・酵素の性質	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 (定期考査) 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 (発問評価・課題提出) ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 (実験評価) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)	○	○	○	9
定期考査			○	○	○	1
第2章遺伝子とそのはたらき 第1節遺伝情報とDNA 第2節遺伝情報の複製と分配 【知識及び技能】 ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 ・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができるようになる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	・DNAについて ・DNAの構造 ・細胞周期とDNA ・遺伝情報の複製	【知識・技能】 ・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 (定期考査) 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。 ・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 (発問評価・課題提出) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。 (発問評価・授業態度)	○	○	○	10

	<ul style="list-style-type: none"> 細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし、理解しようとする。 											
	定期考査				○	○	○	1				
2 学 期	<p>第2章遺伝子とのはたらき 第2節遺伝情報の複製と分配 第3節遺伝情報の発現</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報とタンパク質 タンパク質の合成 細胞の分化と遺伝情報 遺伝情報とゲノム 	<p>【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。 (定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 (発問評価・課題提出)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)</p>					○	○	○	13	
	定期考査				○	○						1
	<p>第3章ヒトの体内環境の維持 第1節体内での情報伝達と調節 第2節体内環境の維持のしくみ</p> <p>【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解させる。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解し、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得させる。 ・実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができるようになる。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見い出して理解することができるようになる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できるようにする。 ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとする。</p> <p>第3節免疫のはたらき</p> <p>【知識及び技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解する。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境の維持 血糖濃度の調節のしくみ 血液循環を維持するしくみ 体を守るしくみ 適応免疫 免疫と健康 	<p>【知識及び技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 (定期考査)</p> <p>・実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 (課題提出・実験評価) ・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 (定期考査)</p> <p>【思考、判断、表現】 ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見い出して理解することができる。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。 (発問評価・課題提出)</p> <p>・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 (発問評価・課題提出)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)</p> <p>・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとする。 (発問評価・授業態度)</p> <p>【知識及び技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 (定期考査)</p> <p>【思考、判断、表現】 ・資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 (発問評価・課題提出)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。 (発問評価・授業態度)</p>					○	○	○	13	
	定期考査				○	○						1

3 学 期	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1節 植生と遷移□</p> <p>【知識及び技能】□</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解させる。 ・植生の遷移についてその過程を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解させる。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見いだし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 <p>2節 植生分布とバイオーム</p> <p>3節 生態系と生物の多様性</p> <p>4節 生態系のバランスと保全</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解させる。 ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植生とその成り立ち ・植生の遷移 ・植生の再生 ・植生とバイオーム ・世界のバイオーム ・日本のバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系における種多様性 ・生態系における生物どうしのつながり ・生態系のバランス ・人間生活と生態系 ・生態系の保全 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 ・植生の遷移についてその過程を理解している。 <p>(定期考査)</p> <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解することができる。 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 <p>(発問評価・課題提出)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見いだし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 <p>(発問評価・授業態度)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 <p>(定期考査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 <p>(定期考査)</p> <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。 <p>(発問評価・課題提出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。 <p>(発問評価・課題提出)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。 <p>(発問評価・授業態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて理解しようとする。 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。 <p>(発問評価・授業態度)</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
			○	○	合計	70	

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組～5組：林・村井・秋澤・下村・稲垣）

使用教科書：

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>B 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 個人ワーク グループワーク 学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する ○ 目的に適した運動の計画を立て取り組む <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体づくり運動に自主的に取り組む ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする ・ 話し合いに貢献しようとする ・ 健康・安全を確保する 	○	○	○	8
<p>F 剣道及び柔道 (剣道、柔道、ダンスより通年選択)</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</p> <p>ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。</p> <p>イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 攻防などの自己や仲間の課題を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 個人ワーク グループワーク 学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。 ○ 基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 <p>※柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。 <p>※剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p>	○	○	○	

<p>発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 				
<p>1 学 期</p> <p>C ダンス (剣道、柔道、ダンスより通年選択) 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民踊ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする <p>【思考・判断・表現】</p> <p>表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・作品や発表などの話し合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・健康・安全を確保する 	○	○	○	11
<p>C 陸上競技 【知識及び技能】 (1) 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 ア 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めること ウ 砲丸投げでは、立ち投げなどから砲丸を突き出して投げる、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 動きなどの自己や仲間の課題を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 各種目特有の技能を身に付ける <p>【思考・判断・表現】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>				

<p>発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3)陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に自主的に取り組む ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする ・自己の責任を果たそうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・健康・安全を確保する 	○	○	○	7
<p>C 器械運動 【知識及び技能】 (1)次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。 ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2)技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3)器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃めたえようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技ができる楽しさや喜びを味わう ○ 技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ 自己に適した技で演技する <p>【思考・判断・表現】 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器械運動に自主的に取り組む ・よい演技を讃えようとする ・互いに助け合い教え合おうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・健康・安全を確保する 	○	○	○	
<p>D 水泳 【知識及び技能】 (1)次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2)泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3)水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 効率的に泳ぐ <ul style="list-style-type: none"> ※クロール <ul style="list-style-type: none"> ・手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする ※平泳ぎ <ul style="list-style-type: none"> ・手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に自主的に取り組む ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする ・自己の責任を果たそうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する 	○	○	○	13

<p>F 剣道及び柔道</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。 ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。 イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。 ※柔道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。 ※剣道 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	
<p>C ダンス</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめて踊ること。 イ フォークダンスでは、日本の民謡ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】 ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする</p> <p>【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・作品や発表などの話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・健康・安全を確保する</p>	○	○	○	20

<p>ナ 期</p>	<p>E球技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・作戦などについての話し合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い教え合おうとする ・健康・安全を確保する</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>18</p>
	<p>H体育理論 【知識及び技能】 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。 (ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。 (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。 【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・ワークシート記入 	<p>○ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する ※ スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること ※ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること ※ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること ※ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること</p>		<p>4</p>

<p>F 剣道及び柔道</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</p> <p>ア 柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。</p> <p>イ 剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わう伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解している。基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開しようとしている。</p> <p>※柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をしている。 <p>※剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をしている。 <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。</p>				
<p>C ダンス</p> <p>【知識及び技能】 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。</p> <p>ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方などで変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。</p> <p>イ フォークダンスでは、日本の民踊ようや外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ること。</p> <p>ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 (2) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 (3) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】 ○ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう ○ ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解する ○ イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする</p> <p>【思考・判断・表現】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・作品や発表などの話し合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする ・健康・安全を確保する</p>				7

<p>C 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>ア長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 各種目特有の技能を身に付ける <p>【思考・判断・表現】</p> <p>動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に自主的に取り組む ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする ・自己の責任を果たそうとする ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする ・健康・安全を確保する 		10
<p>球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する <p>※ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする <p>※ネット型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする <p>※ベースボール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・作戦などについての話し合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い教え合おうとする ・健康・安全を確保する 		7
				合計
				105

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：下村） （2組：下村） （3組：稲垣） （4組：稲垣） （5組：稲垣）

使用教科書：（「現代高等保健体育」（大修館））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>(ア) 健康の考え方</p> <p>【知識】</p> <p>⑦ 国民の健康課題 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。その際、がん、生活習慣病、感染症、精神疾患及び少子高齢社会における健康課題等があることについて触れるようにする。また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解できるようにする。</p> <p>⑧ 健康の考え方と成り立ち 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解できるようにする。このことを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解できるようにする。それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解できるようにする。</p> <p>⑨ 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。また、適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できるようにする。その際、適切な意思決定や行動選択を行うには、十分に情報を集め、思考・判断すること、行動に当たっては自分なりの計画・評価を行うこと、及び社会的な影響に適切に対処することなどが重要であることについても触れるようにする。健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることを理解できるようにする。また、一人一人が健康に関心をもち、健康に関する適切な環境づくりに関わっていくことが必要であることにも触れるようにする。なお、ウの内容は、「保健」の内容全体に関わるものであり、「思考・判断・表現力等」</p> <p>・現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び</p>	<p>【知識】</p> <p>ア 現代社会と健康について理解を深めること。</p> <p>(ア) 健康の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の健康課題 ・主体と環境の相互作用 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>				13

	<p>社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。</p> <p>・国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理すること。</p>						
2 学 期	<p>(イ) 現代の感染症とその予防</p> <p>【知識】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用すること。</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (イ) 現代の感染症とその予防 ・個人の取組及び社会的な対策</p> <p>【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	
	<p>(ウ) 生活習慣病などの予防と回復</p> <p>【知識】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスク</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること。 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活 ・疾病の早期発見及び社会的な対策</p> <p>【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	7

<p>の軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会対策を整理すること。</p>						
<p>(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</p> <p>【知識】</p> <p>㊦ 喫煙、飲酒と健康 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できるようにする。その際、周囲の人々や胎児への影響などにも触れるようにする。また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できるようにする。その際、好奇心、自分自身を大切にする気持ちの低下、周囲の人々の行動、マスメディアの影響、ニコチンやエチルアルコールの薬理作用などが、喫煙や飲酒の開始や継続の要因となることにも適宜触れるようにする。</p> <p>㊧ 薬物乱用と健康 コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。その際、危険ドラッグの問題があることにも適宜触れるようにする。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。その際、薬物乱用の開始の背景には、自分の体を大切にする気持ちや社会の規範を守る意識の低下、周囲の人々からの誘い、断りにくい人間関係、インターネットを含む薬物を手に入れやすい環境などがあることにも適宜触れるようにする。</p> <p>「思考・判断・表現」 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価すること。</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・個人や社会環境への対策</p> <p>【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	
<p>(オ) 精神疾患の予防と回復</p> <p>㊦ 精神疾患の特徴 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることを理解できるようにする。また、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹り患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解できるようにする。その際、アルコール、薬物などの物質への依存症に加えて、ギャンブル等への過剰な参加は習慣化すると嗜癖行動になる危険性があり、日常生活にも悪影響を及ぼすことに触れるようにする。</p> <p>㊧ 精神疾患への対処 精神疾患の予防と回復には、身体</p>	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 現代社会と健康について理解を深めること (オ) 精神疾患の予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活 ・疾病の早期発見及び社会的な対策</p> <p>【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>				<p>7</p>

<p>の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。また、心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることを理解できるようにする。その際、自殺の背景にはうつ病をはじめとする精神疾患が存在することもあることを理解し、できるだけ早期に専門家に援助を求めることが有効であることにも触れるようにする。さらに、人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどを理解できるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理すること。 		○	○	○		
<p>3 学 期</p> <p>(7) 安全な社会づくり 【知識・技能】 ㊦ 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、 事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解できるようにする。 ㊧ 安全な社会の形成 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解できるようにする。 その際、乳幼児、高齢者、障害者、妊婦などの安全には、特に支援が必要な場合があることに触れるようにする。 ㊨ 交通安全 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解できるようにする。その際、将来、二輪車及び自動車などの運転者として、交通社会の一員となることもあることを考慮し、運転者としての責任、加害事故の防止や事故発生時の適切な対処が必要であるという視点を重視する。 【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び 	<p>・指導事項 ・学習プリント</p>	<p>【知識】 ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。 (7) 安全な社会づくり ・環境の整備と個人の取組 【思考・判断・表現】 イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	5

<p>社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会づくりにについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用すること。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価すること。 						
<p>(イ) 応急手当</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>㊦ 応急手当の意義</p> <p>適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。また、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制を適切に利用することが必要であることを理解できるようにする。</p> <p>㊧ 日常的な応急手当</p> <p>日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。</p> <p>㊨ 心肺蘇生法</p> <p>心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AED などを用いて心肺蘇生法ができるようにする。その際、複数人数で対処することがより有効であること、胸骨圧迫を優先することについて触れるようにする。なお、指導に当たっては、呼吸器系及び循環器系の機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。また、「体育」における水泳などとの関連を図り、指導の効果を高めるよう配慮するものとする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・学習プリント 	<p>【知識】</p> <p>ア 安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。</p> <p>(イ) 応急手当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷害や疾病の悪化の軽減 ・正しい手順や方法 ・応急手当の速やかな実施 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>イ 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	○	○	○	3
						計
						35

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術（音楽） 科目 音楽 I

教科： 芸術（音楽） 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者： 山田 泰之
 使用教科書： MUOSA1

- 教科 芸術（音楽） の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 歌唱 【知識及び技能】 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することができる。	・指導事項 ・Caro mio ben	○				【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりが理解できる。	○			10
A 器楽 【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することができる。	・指導事項 ・きらきら星		○			【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりが理解できる。		○		10
A 鑑賞 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。	・指導事項 ・サウンドオブミュージック				○	【学びに向かう力、人間性等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値が理解できる。			○	6
2 学 期	A 歌唱 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などができる。	・指導事項 ・野ばら	○			【知識及び技能】 他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○		○	14
	A 器楽 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりが理解できる。	・指導事項 ・キーボード		○		【思考力、判断力、表現力等】 表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。			○	14
3 学 期	A 創作 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができる。	・指導事項 ・楽典			○	【知識及び技能】 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。	○		○	10
	A 鑑賞 【学びに向かう力、人間性等】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解できる。	・指導事項 ・天使にラブソングを				○	【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりが理解できる。			○
										合計
										70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者：（1組：丸山）（2組：丸山）（3組：丸山）（4組：丸山）（5組：丸山）（組：）
 使用教科書：（「高校生の美術1」（日本文教出版））

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。造形的な視点を豊かにするために必要な知識と、表現における創造的に表す技能を育くむ。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方を育くむ。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。主体的に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情、豊かな感性を育む。

科目 美術 I の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を次のように育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ィ ィ	映						
オリエンテーション/自画像 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○			○					2
想像を形に 【知識及び技能】 材料や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて特性や効果を生かしながら形や色彩、質感、空間などの表現を工夫し、想像の世界を表している。 【思考力、判断力、表現力等】 想像の世界を表すために、形や色彩、大きさや質感などを変化させたり、ものどもの、ものと風景などの組み合わせを工夫しながら構想を練り、主体的に主題を生成し、創造的に表そうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 現実にはあり得ない架空の世界や夢の中の出来事などを表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、想像の世界を表すための構想を練ろうとしている。	・シュールレアリズム実験(オートマティスム、夢の記憶)を通して、その考え方や魅力について興味と関心を高める。 ・名詞を20分間書き出す。 ・書き出した名詞から、3つモチーフを選び出し、現実にはあり得ない組み合わせを考えて、アイデアスケッチをする。 ・時間や空間の不思議さや面白さを表す背景を探し出し、モチーフを組み合わせながら、不思議な世界を表すための構図を考え、形や色彩の表し方の構想を練る。 ・材料や用具を効果的に用いながら、形や色彩を工夫して超現実な世界を表現する。 ・自らの制作過程を振り返り、作品の表現意図と表現の工夫について分析する。 ・他者の作品を鑑賞し、主題と表現の工夫について考察する。	○			○				12	
1 学期 美の秩序—構成の要素— 【知識及び技能】 美しさを感じさせる効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて制作の見通しをもって表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考えて主題を生成し、形や色彩などの造形要素の性質がもたらす感情の効果を考えた創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 造形の秩序に関心を持ち、情報伝達における形や色彩などの造形要素の働きを考え、理解する。	・教科書の参考作品を鑑賞し、造形の秩序について理解する。 ・「夏」「冬」をシンメトリーな形で表現するアイデアスケッチをする。 ・ケント紙に平塗りで本番描きをする。 ・完成した平面構成を相互に鑑賞する。	○			○				8	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術 科目：書道Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：大河原 達也

使用教科書：（「書Ⅰ」（教育図書））

教科 芸術 書道の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
隷書の学習 【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	・書道用具、教科書、副教材 ・乙瑛碑の臨書 隷書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。	○			○	【知識及び技能】 隷書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、八分特有の扁平な字形、藏鋒、中鋒などの用筆、また、波磔、転折、右払い、左払いなどの形と用筆を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	13
篆書の学習 【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	・書道用具、教科書、副教材 ・泰山刻石の臨書 篆書の基本点画、運筆法・表現法を指導する。姓名印を作る 篆刻学習を通し、落款の大切さも理解させる。	○			○	【知識及び技能】 篆書の成立過程や公式書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 篆書の基本点画、運筆法・表現法を理解する。篆書の造形を理解し基本的な造形を理解し表現の構想に結びつける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	13
草書の学習 【知識及び技能】 草書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、草書の特徴である点画の連続や省略、柔らかく丸みのある用筆などを理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	十七帖の臨書 草書の基本点画・運筆法を指導する。	○			○	【知識及び技能】 草書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。作られた経緯や書風について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞・臨書し、草書の特徴である点画の連続や省略、柔らかく丸みのある用筆などを理解し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な書の表現やその効果に関心を持ち、他の生徒の表現も楽しんで鑑賞できる。	○	○	○	14
行書の学習 【知識及び技能】 行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。	風信帖の臨書（半紙） 半切の作品の作り方を学習する。					【知識及び技能】 行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】				

2
学
期

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組・5組

教科担当者：（1組：菅田・武）（23組：小林・菅田）（45組：小林・菅田・武）

使用教科書：（Power On English CommunicationⅠ（東京書籍））

教科 外国語 の目標

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
Lesson 1 Japan's New Tourism 【知識及び技能】 動詞の現在形 過去形や進行形の使い方が身についている。 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・外国からの観光客に人気の体験型ツーリズムを紹介するALTの話 ・動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形 ・質問する、説明する、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による現在形・過去形に関する事項の理解度の確認【思考力、判断力、表現力等】「観光」や「ニューツーリズム」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
定期考査								○	○		1
Lesson 2 Light from Creatures 【知識及び技能】 受動態 現在完了の使い方が身についている。過去分詞を正確に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・生き物が光る理由や、その光が医療研究に利用されていることに関する生徒による発表。 ・受け身、現在完了形、現在完了進行形 ・質問する、説明する、理由を述べる、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による受動態・現在完了形に関する事項の理解度の確認【思考力、判断力、表現力等】「生き物の医療研究」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	9
Lesson 3 Routes to the Top 【知識及び技能】 動名詞、不定詞の使い方が身についている。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・スポーツクライマーである野口選手のインタビュー ・動名詞、不定詞、S+V+O [that節] ・質問する、説明する、理由を述べる、助言する、紹介する、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】定期考査による動名詞、不定詞に関する事項の理解度の確認【思考力、判断力、表現力等】「スポーツ選手のインタビュー」についての対話や作文力のSpeaking・Writingテストによる確認【学びに向かう力、人間性等】提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	8

1
学
期

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：(武、前田、小林)

使用教科書：(「VISTA Logic and Expression I」(三省堂))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の音声、語彙、表現、文法などを理解し、コミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションにおいて外国語で情報や考えを的確に理解したり、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、外国語の音声、語彙、表現、文法などを理解し、コミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけさせる。	コミュニケーションにおいて情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりする能力を養う。	話したり書いたりする言語活動を中心に、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書						
1 学 期	L1 Bouldering? How nice! ボルダリング? いいね! L2 Famous People この人は何をした人? ・現在形・過去形に関する事項を理解させる。 ・学校生活や歴史上の人物などについてやり取りや作文を行う。	・現在形(be動詞 / 一般動詞) 過去形(be動詞 / 一般動詞) ・「クラブ活動」や「高校でしてみたいこと」などについての対話や作文 ・「歴史上の人物」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	4
	L3 Aquarium Adventure 今、クラブに夢中だよ! ・現在進行形・過去進行形に関する事項を理解させる。 ・していること、していたことについてやり取りや作文を行う。	・現在進行形 / 過去進行形 ・「今していること」や「過去にしていたこと」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	6
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1	
	L4 My Summer Plan JAXAへ行くよ ・未来表現に関する事項を理解させる。 ・夏休みの予定についてやり取りや作文を行う。	・未来表現(will / be going to) ・「夏休みの予定」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	7
	L5 UFO Sightings キミはUF0を見たことがあるか?! L6 Homestay ホームステイにチャレンジ! ・現在完了形に関する事項を理解させる。 ・経験・完了・継続についてのやり取りや作文を行う。	・現在完了形①(経験 / 継続) 現在完了形②(完了 / 現在完了進行形) ・「経験したこと」や「完了したこと」、「継続したこと」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	7
定期考査		○	○		○		○	○	○	1		
2 学 期	L7 Which is faster? いろいろなものと比べると... ・比較に関する事項を理解させる。 ・いろいろなもの比較についてのやり取りや作文を行う。	・比較(比較級 / 最上級 / as...as ~) ・「いろいろなもの比較」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	6
	L8 Great Inventions あなたが選ぶすぐれた発明品は?! L9 Save the Earth ホテルが住める地球を! ・助動詞に関する事項を理解させる。 ・発明品や環境問題についてやり取りや作文を行う。	・助動詞①(can / may) 助動詞②(must / have to / should) ・「紹介したい『発明品』」や「環境問題」についての対話や作文	○	○	○	○	○		○	○	○	7
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1組～5組：谷川)

使用教科書： (「情報 I 図解と実習 (図解編・実習編)」 (日本文教出版))

教科 情報 の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報やメディアの特徴、情報社会の特徴を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な事例から情報社会を意識し、基本的な情報モラルについて考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい情報社会の発展のために必要なことを意識できるようにする。	・SNSの普及と情報モラル ・情報社会とは ・大切な情報を守るために ・情報社会を支える法律 ・著作権に関する法律 ・情報通信技術で変わる社会 【問題解決実習】 ・オリエンテーション ・ブレインストーミング、KJ法 ・アンケート作成、プレゼン、レポート	【知識・技能】 情報やメディアの特徴、情報社会の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 身近な事例から情報社会を意識し、基本的な情報モラルについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい情報社会の発展のために必要なことを意識しようとしている。	○	○	○	10
	メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 それぞれのメディアの特徴について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めるようにする。	・コミュニケーションとメディアの変遷 ・コミュニケーション手段の多様化 ・インターネット上のコミュニケーションの特性 ・ソーシャルメディアの活用と注意点	【知識・技能】 それぞれのメディアの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションにおいて気をつけるべき点について、具体的な例をあげて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットの登場によるコミュニケーションのあり方の変化について、主体的に自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの考え方と目的を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化に分類することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある情報デザインの例や用いられている手法を積極的に探そうできるようにする。	・デザインの基本を見よう ・情報デザイン ・情報を伝えるさまざまな手段 ・誰にとってもわかりやすい情報デザインの工夫 ・情報デザインの流れ 【情報デザイン実習】 ・文化祭のポスターの作成	【知識・技能】 情報デザインの考え方と目的を理解している。 【思考・判断・表現】 身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近にある情報デザインの例や用いられている手法を積極的に探そうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	情報のデジタル化 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数を2進法、10進法、16進法で表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル化や2進法に関心を持たせる。	・デジタルデータと2進法 ・文字・音のデジタル化のしくみ ・画像のデジタル化のしくみ ・動画のデジタル化のしくみ ・圧縮のしくみ 【コンピュータ・サイエンス・アンブレグド実習】 ・コンピュータを使わずに情報科学を学ぶ	【知識・技能】 アナログとデジタルの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 数を2進法、10進法、16進法で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル化や2進法に関心を持つようとしている。	○	○	○	8
	コンピュータのしくみ 【知識及び技能】 コンピュータのしくみについて理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの構成を表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータについての知識を深めるようにする。	・コンピュータの基本的な構成 ・CPUとメインメモリ ・CPUの演算のしくみ	【知識・技能】 コンピュータのしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータの構成を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータについての知識を深めようとしている。	○	○	○	5
	アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムの基本構造を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラムとプログラミング言語について主体的に考える力を養う。	・ものごとの手順とアルゴリズム ・アルゴリズムを図式化してみよう ・プログラムとプログラミング言語 ・プログラムの構造 ・プログラムを改善するときの考え方 ・プログラミングスタイルの変化 【アルゴリズム実習】 ・アルゴリズム、フローチャート、パープロトタイプ 【プログラミング実習】 ・Scratchによるプログラミング	【知識・技能】 アルゴリズムの基本構造を理解している。 【思考・判断・表現】 条件や目的に合った簡潔でわかりやすいアルゴリズムについて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラムとプログラミング言語について主体的に考えようとしている。	○	○	○	10
	モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化とシミュレーションの関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化の手順を考えながら、適切なモデルを選択することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生活の中のシミュレーション事例を主体的に考える力を養う。	・モデル化とは ・モデルを利用した問題解決 【モデル化とシミュレーション実習】 ・身近な題材でモデルを使ったシミュレーション	【知識・技能】 モデル化とシミュレーションの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 モデル化の手順を考えながら、適切なモデルを選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活の中のシミュレーション事例を主体的に考えようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報通信ネットワークの基本的な構成について説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワーク ・データ伝送のしくみ（IPアドレスとプロトコル） ・データ伝送のしくみ（WWWと電子メール） ・情報セキュリティの重要性（個人認証） ・情報セキュリティの重要性（暗号化） <p>【ネットワーク実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内LANの設計 	<p>【知識・技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報通信ネットワークの基本的な構成について説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティを確保するための技術を知り、情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>情報システムとデータベース</p> <p>【知識及び技能】 情報サービスとデータベースの関係を理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報サービスにはどのような情報システムが必要か考える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報サービスとそれを支える情報システム ・データベース ・データの形式とデータモデル <p>【データベース実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの操作の体験 	<p>【知識・技能】 情報サービスとデータベースの関係を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報サービスにはどのような情報システムが必要か考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報サービスで解決できる課題について、自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>データの活用</p> <p>【知識及び技能】 問題解決におけるデータの活用方法について理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集計した数値データやテキストデータを分析し、考察できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 データの分析を通して自分の考えを深めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・データの収集 ・データの分析 <p>【データ活用実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値データの分析、散布図 ・テキストデータの分析 	<p>【知識・技能】 問題解決におけるデータの活用方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 集計した数値データやテキストデータを分析し、考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 データの分析を通して自分の考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 科目：総合的な探究の時間 2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：山田）（2組：飯塚）（3組：志波）（4組：武）（5組：下村）

使用教科書：（ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】一人の人間として培ってきたものの見方や考え方を働かせ、様々な場面において行動を選択することができる資質や能力を読書や体験活動を通じて育成する。

【思考力、判断力、表現力等】社会に生きる構成員として、ある課題に対して他社の意見を傾聴し、お互いの価値観を高めることで、道徳性を養い、社会で協働する資質を演習などを通じて育成する。

【学びに向かう力、人間性等】社会的現実を照らして、様々な場面で妥当な判断基準を設定できるように、主体的に関わる素養を培う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<ul style="list-style-type: none"> 目的とその意義を理解する。 目的と授業を通して培う力を確認する。 今後どのように役に立つかを意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 学ぶ意義を理解する。 教材 一人1台端末の活用 等 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 学ぶ目的を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に生まれる気づきを言葉にできる。 【学びに向かう力、人間性等】 人間性を深める態度が見受けられる。 	○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 初期消火や家具転倒防止の術などを学ぶ。 状況に応じて冷静に命を守る行動ができる判断力を養う。 他者を助けるために、まず自分が無事であるという視点に立ち行動するよう意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 地域の方々と協働して防災の意識を高める。 教材 一人1台端末の活用 等 レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 自分のための必要最低限な知識を有している。 【思考力、判断力、表現力等】 自助・共助を成し遂げるために、的確に状況を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら物事を進めようとしている。 	○	○	○	2
定期考査 なし			○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 自助共助について、必要最低限のことを理解する。 他者と協働することで、よりよい共助に向かうことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 演習を通じて意識を高める。 教材 一人1台端末の活用 等 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 自分のための必要最低限な知識を有している。 【思考力、判断力、表現力等】 自助・共助を成し遂げるために、的確に状況を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら物事を進めようとしている。 	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> 「働くこと」について自分の興味、関心の傾向を探る。 様々な職業について調べ、見識を広げる。 職場体験について説明を聞き、社会に出るにあたって必要なことを職員と共有しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 演習を通じて意識を高める。 教材 一人1台端末の活用 等 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識及び技能】 自分のための必要最低限な知識を有している。 【思考力、判断力、表現力等】 自助・共助を成し遂げるために、的確に状況を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら物事を進めようとしている。 	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1

